

周防大島町総合体育館陸上競技場・八幡生涯学習のむら・日本ハワイ移民資料館・宮本常一記念館

橘
写真真展

—— 橘本栄が視た
周防大島町橘地区の情景 ——



橘本栄は1927年橘町日前（現周防大島日前）に生まれました。生家はいわし網の網元で、少年時代にはいわし網の手伝いをして過ごしたといいます。潮騒の中で育った彼は1965年頃からカメラの魅力にとりつかれ、後年には数々の写真賞を受賞するまでの写真家となります。そんな浜本がライフワークとして撮り続けた対象は生まれ育った島の生活でした。

彼の撮った写真には生き生きとした人々の表情や自然な暮らしの風景が写しとられています。それは記録写真として貴重であるばかりでなく、何気ない暮らしや動作の中に

ある一瞬の美しさを発見し、伝えるものとなっています。これは、写す人と写される対象とが同じ風土に生きる者同士としての共感があつて可能となったのかもしれない。今回は、周防大島町に寄贈された浜本写真の中から旧橘町を中心にご紹介します。（古賀）

【期間】10/16（水）～3/29（日）9時～16時

【入場料】無料

【休館日】月曜（祝日の場合はその翌日）

【場所】学びの間

【問い合わせ】0820・72・2601

明らかになった
ハワイ移民の実態

8/4（日）、本館開館20周年の記念講演会を開催しました。「知られざるハワイ移民史」と題し、講師には広島市のハワイ移民資料館「仁保島村」の川崎壽館長をお迎えしました。

会場には、日米の両国旗、ハワイ州旗、町旗が

前面に掲げられ、側面には畳大のパネルや文書、門外不出の貴重な移民資料が置かれ、来場者を岩国音頭の太鼓の音が迎えました。「ハワイ移民」をより立てる講師の演出に心が熱くなり、講演内容に期待を寄せて開始を待ちました。

川崎さんは当時の新聞記事や古文書などから、ハワイが移民を必要とした背景や、大島から多くの移民を輩出する要因となった当時の政治経済状況を解説。ハワイ移民は国や地方が一致協力した一大事業であり、山口県の場合、伊藤博文ら明治政府要人の力添えと同等に県令であった原保太郎の尽力を評価されました。ほか、県内の移民者が岩国新港から村の助役に見送られて送り出されていた事例など配慮された移民像を示し、移民



開館20周年記念講演会

は棄民という従来のイメージに疑問を投げかけました。また、自身の経験から、当時実際に作成された資料や使われた道具といった本物を見ることが大切だと、そうした本物を所蔵する資料館が貴重であることを強調されました。

資料の写しを掲げての説明やジョークを交えながらのお話は30分超過しましたが、地元大島の人にも知らないハワイ移民史は大変有意義なものでした。会場の皆さんは聞き入るように頷いておられるのが印象的で、まだ時間が足りないそんな講演会でした。（木元）

周防大島町総合体育館

島ミュージカル
プロジェクト

夏休みスペシャル

8/21（水）～8/23（金）

にかけて、北九州から周防大島に公演で訪れる劇団「島ミュージカル」の方々によるワークショップが当館で開催されました。今年

は島ミュージカル活動の区切りとなるため、夏休みスペシャルと題し、24（土）の本番公演のリハーサルを兼ねたプログラムでした。

劇団の人と一緒に秘密基地を作ったり、歌ったり踊ったり、演技をしたりと充実した内容で、参加者は夢中になって取り組んでいました。発想や想像力が溢れ出すワークショップで楽しい時間を過ごせたようです。（中村）





季節のヨーガ教室

「秋冬クラス」の募集を開始



周防大島町総合体育館

運動の秋はヨーガをはじめよう！ 長い冬を健康に過ごすために、一緒に季節に適したヨーガを楽しみませんか？ 季節に適応する心とカラダづくりを目指しましょう。本格的にやってみたい方はもちろん、身体の固い方や初心者の方にも楽しんで頂ける内容です。週に1度自分の心とカラダとに向き合う時間を作ってみませんか？ぜひご参加ください。（中村）

【講師】三浦さおり

（日本ヨーガ禅道友会所属）

【場所】周防大島町総合体育館アリーナ

【定員】20名（先着順）

【参加料】1期9回分5400円

（初回時徴収）

【持物】ヨガマット（またはバスタオル）

【日程】10/7・12/16までの毎週月曜

19時30分～20時45分（全9回、祝日はお休み）

【申込み】0820・78・2512

※この教室は1期9回を通して受講していただくことで「日頃のヨーガ」となるようなプログラム作りをしております。

aloha! フラガールボーイ体験

日本ハワイ移民資料館

町のアロハキャンペーン期間中、フラガール・フラボーイになってみよう！と題してドレスやアロハの試着体験コーナーを

設けました。海外からのお客さまの場合、希望があれば浴衣も体験できました。民泊で大島を訪れた学生の中にはバウスカートやレイ、髪飾りなど友達同士で選ばれて記念撮影をしていただける子がいました。大変ご好評でした。

今年ドレスなどをフラグループの方からご提供いただいたり、作成したりして選択肢が増えた分、よりお楽しみいただけたようです。今後は移民の労働着や日常着の試着も考えています。

20周年を迎え、当館は多くの方に移民の歴史やハワイの文化芸術など絆を深める施設としてがんばります。（尾尻）



「クワガタ探しと早朝ハイキング」を開催

八幡生涯学習のむら

久賀の一の井手は田に水をめぐらすために江戸時代



につくられた農業用水路です。今回、子どもたちのはりきってクワガタを探してくれました。（古賀）

「勾玉作り」講座を開催

八幡生涯学習のむら

古代の装身具、勾玉を作る体験講座を行いました。勾玉は古墳時代に多く作られたこと、周防大島にも古墳があることを学んだあと、やわらかい石を紙やすりで削って勾玉作りに挑戦しました。子どもも大人も無心で自分の石を磨きあげ、オリジナルの勾玉が出来上がりました。（古賀）



大島中学校はた織り体験参加記



宮本第一記念館

7/16（火）、当館地域交流員の長谷川樹子さんを中心としたグループ「糸をかし」の指導のもと、大島中学校の生徒が家庭科の授業（布の成り立ちについて）ではた織り体験をしました。いくつもの工程を経て作られる木綿布を代表的な三つの工程（①種子と綿を分ける綿繰り②糸紡ぎ③はた織り）をグループごとに交替で体験しました。

どの作業も重要で、熟練するまでには多くの時間が費やされます。「綿繰りやはた織りの操作が難しかった」、「自分の織った布が目に見える形になっていくのが楽しかった」など生徒の反応もさまざま



ま。今でこそ手軽に購入できる衣類が実は多くの工程を経て出来上がっていることや、道具の構造を通して先人の工夫の一端を学びました。

はた織り倶楽部「糸をかし」は服部屋敷を拠点に毎週火曜日に活動しています。素材である綿花栽培に始まり、多くの工程を経て丁寧にはたを織っています。関心のある方は当館へご連絡ください。（徳毛）

【問い合わせ】0820・78・2514

生涯学習のむらで歴史体験

八幡生涯学習のむらで次の体験ができます

①縄文の布でコースター作り

「あんぎん編み」という縄文時代の布の作り方で、麻ひもを使ってコースターをつくります



②勾玉作り

①、②ともに準備の都合上、2日前までにご連絡ください。（古賀）

【日程】9/29（日）まで。申し込み時に希望日をご相談ください

【時間】9時～15時まで申し込み受付

【場所】学びの間

【定員】15名

【材料費】縄文コースター1枚100円、勾玉1セット500円

【体験時間】縄文コースター1時間程度、勾玉体験2～3時間程度

【問い合わせ】0820・72・2601